



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2002259300 A

(43) Date of publication of application: 13.09.2002

(51) Int. Cl. G06F 13/00

(21) Application number: 2001052539

(22) Date of filing: 27.02.2001

(71) Applicant: KYOCERA CORP

(72) Inventor: SAITO MASAHIRO

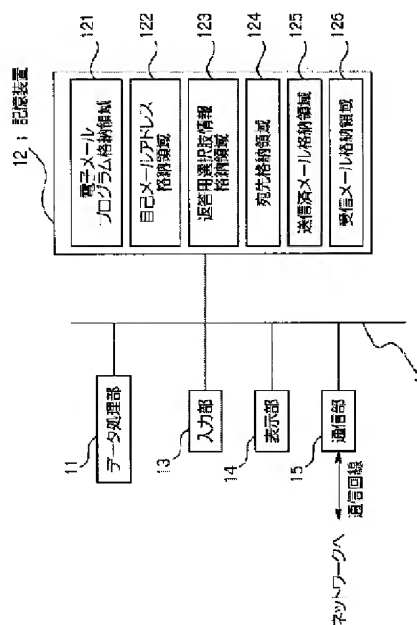
(54) COMMUNICATION METHOD AND ITS RECORDING MEDIUM

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a communication method which makes it possible to easily and speedily reply to received electronic mail and its recording medium.

SOLUTION: When electronic mail is sent by a communication method for sending and receiving electronic mail, a data processing part 11 adds choice information for replying specified through an input part 13 to the electronic mail and sends this electronic mail. When electronic mail with added choice information for replying is received, the data processing part 11 displays choices for replying corresponding to the added choice information for replying and when one choice for replying is selected through the input part 13, the choice information for replying corresponding to the selected choice for replying is sent back. The reception side of the reply mail makes a display based upon the choice information for replying.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-259300
(P2002-259300A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 13/00	6 0 5	G 0 6 F 13/00	6 0 5 F

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2001-52539(P2001-52539)

(22)出願日 平成13年2月27日(2001.2.27)

(71)出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町6番地

(72)発明者 斎藤 雅弘

神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1

号 京セラ株式会社横浜事業所内

(74)代理人 100064908

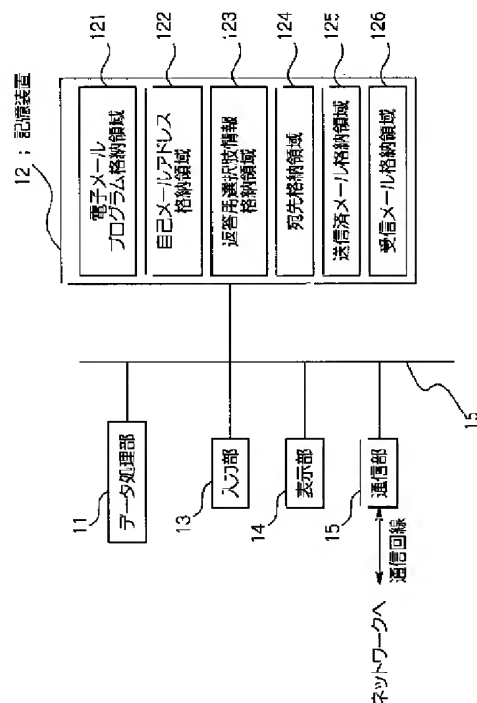
弁理士 志賀 正武 (外3名)

(54)【発明の名称】 通信方法及びその記録媒体

(57)【要約】

【課題】 受信した電子メールに対する返信を容易に且つ迅速に行うことが可能な通信方法及びその記録媒体を提供する。

【解決手段】 電子メールを送受信する通信方法において、電子メール送信時において、データ処理部11は、入力部13から指定された返信用選択肢情報を電子メールに付加し、この電子メールを送信する。返信用選択肢情報が付加されている電子メールを受信した場合には、データ処理部11は、付加されている返信用選択肢情報に対応する返信用選択肢を表示させ、表示させたいいずれかの返信用選択肢が入力部13により選択された場合に、選択された返信用選択肢に対応する返信用選択肢情報を返信する。そして、この返信メールの受信側では、返信用選択肢情報に基づいた表示がなされる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールを送受信する通信方法において、

電子メール送信時において、
返信用選択肢情報の指定がされた場合に、指定された前記返信用選択肢情報を電子メールに付加する過程と、
前記電子メールを送信する過程と、
電子メール受信時において、
返信用選択肢情報が付加されている電子メールを受信する過程と、
付加されている返信用選択肢情報に対応する返信用選択肢を表示させる過程と、
表示させたいいずれかの返信用選択肢が選択された場合に、選択された返信用選択肢に対応する返信用選択肢情報を返信する過程と、
返信された前記返信用選択肢情報を受信時において、前記返信用選択肢情報に基づいて表示を行う過程を備えることを特徴とする通信方法。

【請求項2】 前記返信用選択肢情報の指定は、予め記憶されている複数の前記返信用選択肢情報から指定することを特徴とする請求項1に記載の通信方法。

【請求項3】 電子メールを送受信するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、前記プログラムは、
電子メール送信時において、
返信用選択肢情報の指定がされた場合に、指定された前記返信用選択肢情報を電子メールに付加するステップと、
前記電子メールを送信するステップと、
電子メール受信時において、
返信用選択肢情報が付加されている電子メールを受信するステップと、
付加されている返信用選択肢情報に対応する返信用選択肢を表示させるステップと、
表示させたいいずれかの返信用選択肢が選択された場合に、選択された返信用選択肢に対応する返信用選択肢情報を返信するステップと、
返信された前記返信用選択肢情報を受信時において、前記返信用選択肢情報に基づいて表示を行うステップとをコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メールを送受信する機能を有する通信方法及びその記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】近年では電子メールが広く用いられており、電子メールの送受信等を管理するメールソフトウェアには、電子メールを利用しやすくするための各種機能

が設けられている。メールソフトウェアが備える機能の1つに、受信した電子メールに対してその返信を送信する返信機能があるが、従来、この電子メールの返信は、通常返信する元となる電子メールの内容を編集用ソフトウェアで開いた上で編集を行わなければならなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来のメールソフトウェアにおいては、返信すべき電子メールの件数が多い場合には、1つ1つの電子メールを開いた後に編集用ソフトウェアで編集を行わなければならず、その操作は煩雑で利用者への負担が大きいといった問題があった。特に、携帯電話機やPHS(Personal Handy-phone System)等の携帯通信端末において電子メールの返信を行う際には、携帯電話機の限られたキー入力環境において上述したような操作を行わなければならぬため、大変操作が煩わしく操作に長い時間を要する等、作業効率が悪いという問題があった。

【0004】本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、受信した電子メールに対する返信を容易に且つ迅速に行うことが可能な通信方法及びその記録媒体を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、電子メールを送受信する通信方法において、電子メール送信時において、返信用選択肢情報の指定がされた場合に、指定された前記返信用選択肢情報を電子メールに付加する過程と、前記電子メールを送信する過程と、電子メール受信時において、返信用選択肢情報が付加されている電子メールを受信する過程と、付加されている返信用選択肢情報に対応する返信用選択肢を表示させる過程と、表示させたいいずれかの返信用選択肢が選択された場合に、選択された返信用選択肢に対応する返信用選択肢情報を返信する過程と、返信された前記返信用選択肢情報を受信時において、前記返信用選択肢情報に基づいて表示を行う過程を備えることを特徴とする通信方法を提供する。上記手法によれば、予め送信電子メールの内容に対して、考えられる返答をいくつか選択肢として当該電子メールの受信側に送信し、受信側では受信メールの内容を確認した後、当該電子メールの送信側から与えられた返答の選択肢の中から該当するものを選択するだけで、その内容を付加した電子メールの返信が実行される。このため、返信用選択肢情報が付加された電子メールの受信側では、返信用選択肢情報を選択するという1つの操作のみで返信操作が行えるので、利用者の負担を著しく軽減させることが可能となる。

【0006】また、上記記載の通信方法において、前記返信用選択肢情報の指定は、予め記憶されている複数の前記返信用選択肢情報から指定することを特徴とする。これにより、返信用選択肢情報の指定は、例えば、表示画面に表示された複数の返信用選択肢情報から利用者が

所定のものを指定することにより行うことができるので、返信用選択肢情報を指定する操作を極めて容易に行うことが可能となる。

【0007】また、本発明は、上記通信方法をコンピュータを用いて実現するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供する。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照し、本発明の一実施形態について説明する。図2は本発明の一実施形態に係る通信端末が接続されたネットワーク構成の一例を示す図である。同図において、本実施形態に係る通信端末101、102が通信回線20を介してネットワーク30に接続されていることにより、両者間のデータの送受信が可能な構成となっている。ネットワーク30には様々な形態が考えられるが、例えば、インターネット、パソコン通信等の商用ネットワーク、LAN (Local Area Network) 等の他、PHS (Personal Handy phone System) 等の携帯用通信端末を利用した無線通信等による通信形態等が挙げられる。また、通信回線20としては、電話回線、ISDN (Integrated Services Digital Network) 回線、専用線、無線による無線通信網等が挙げられる。なお、通信端末101、102間での電子メール等の各種データの送受信は、ネットワーク30上の図示しないプロバイダ、パソコン通信事業者等を介して行われる場合も含む。

【0009】通信端末101、102は、パーソナルコンピュータ、PHS等の携帯用通信端末、その他電子メールの送受信を行う機能を有する様々な機器を含む。なお、図2には、便宜上2つの通信端末を図示したが、これに限定されず複数の通信端末が通信回線を介してネットワークに接続されているものとする。

【0010】次に、本実施形態に係る通信端末の内部構成について図1を参照して説明する。図1は、本実施形態に係る通信端末101、102の内部の要部構成を示すブロック図である。同図に示すように、通信端末101は、プログラム制御により動作するデータ処理部11、記憶装置12、入力部13、表示部14、通信部15により構成され、各部はバス16に接続されている。更に、通信部15は通信回線20と接続される。

【0011】データ処理部11は、記憶装置12に格納されている基本プログラム（図示略）や電子メール作成処理、管理処理に係る各種アプリケーションプログラムの中から所定のアプリケーションプログラムを電子メールプログラム格納領域121からロードし、入力部13から入力される入力指示、入力データに応じて前記電子メールプログラムを実行することにより、各処理を実行する。また、その処理結果を記憶装置の図示しない格納領域に格納するとともに、必要に応じて表示部14に表示する。また、データ処理部11は、電子メールの送受信に関するアプリケーションプログラムに従って、通信

部15を介して、ネットワーク30に接続されている他の通信端末102との電子メールの送受信を実行する。

【0012】記憶装置12は、電子メールプログラム格納領域121、自己のメールアドレスが格納されている自己メールアドレス格納領域122、返信用選択肢情報格納領域123、当該記憶装置の利用者によって登録された或いは受信した電子メールのアドレスが自動的に登録される宛先格納領域124、送信済メールが格納される送信済メール格納領域125、受信メールが格納される受信メール格納領域126を有する。

【0013】電子メールプログラム格納領域121には、電子メールの作成処理に関わるアプリケーションプログラムや、例えばSMTP、POP（共に、TCP/IP環境での電子メール用プロトコル）等の電子メール用プロトコルに基づいて、通信回線4を介して接続されたプロバイダ等と通信を行うことにより、電子メールの送受信を行うアプリケーションプログラムが格納されている。

【0014】返信用選択肢情報格納領域123には、返信用選択肢の情報が格納されている。この返信用選択肢情報とは、自己が作成した電子メールの内容に対する返答の選択肢である。この返答の選択肢としては、例えば、「承認」、「却下」、「保留」、「了解」、「承諾」、「要相談」等が挙げられる。

【0015】送信済メール格納領域125には、送信した電子メールのメールアドレスである送信アドレスとその電子メールの内容とが対応付けられて送信済ファイルとして格納されている。同様に、受信メール格納領域126には、受信した電子メールのメールアドレスである受信アドレスとその電子メールの内容とが対応付けられて受信ファイルとして格納されている。

【0016】また、記憶装置12は、上述した種々の格納領域の他、データ処理部11により、上述した電子メールプログラムや各種アプリケーションプログラム等で処理された結果等を格納する領域を有する。なお、記憶装置12は、ハードディスク装置や光磁気ディスク装置、フラッシュ記憶装置等の不揮発性の記憶装置や、RAM (Random Access Memory) のような揮発性の記憶装置、あるいはこれらの組み合わせによるコンピュータ読み取り、書き込み可能な記録媒体より構成される。また、この記憶装置12に記憶するプログラム、データ等は、通信回線20等を介して接続された他の機器から受信して記憶する構成にしてもよい。

【0017】入力部13は、カーソルキー、数字入力キー、文字入力キー及び各種機能キー等を備えたキーボード及びマウスを含み、データや各種の指示を入力するために押下されたキーの押下信号やマウスの位置信号をデータ処理部11に出力する。表示部16は、CRT、液晶ディスプレイ等により構成され、データ処理部11から入力される表示データを表示する。通信部17は、モ

デム、ターミナルアダプタ、またはルーター等によって構成され、電話回線、ISDN回線、あるいは専用線等の通信回線4を介して外部機器との通信を行うための制御を行う。

【0018】次に、本実施形態の通信端末による電子メール送受信の動作について、図3～図5に示すフローチャートを参照しながら説明する。なお、以下の説明において、便宜上、通信端末101から通信端末102に対して電子メールが送信され、この電子メールを受信した通信端末102の利用者が通信端末101に対して返信を行う場合について説明する。

【0019】図3は、通信端末101において実行される電子メール送信処理の流れを示すフローチャートであり、図4は、通信端末102において実行される返信処理の流れを示すフローチャートであり、図5は、通信端末101において実行される返信メール受信処理の流れを示すフローチャートである。

【0020】《電子メールの送信に係る処理》まず、図3を参照して、通信端末101から電子メールを送信する処理について説明する。例えば、今、通信端末101の利用者が上司（通信端末102の利用者）に対して、近日予定している出張に対し、承諾を頂きたいといった内容の電子メールを送信したい場合について説明する。

【0021】まず、利用者により電子メールに関する処理の実行が入力部13から入力されると、データ処理部11は、記憶装置12に記憶された電子メールプログラムを起動して、電子メールに関する処理を実行するための画面を表示部14において表示させる。この結果、表示部14の画面には、電子メールプログラムを実行することによって実現される各種機能の実行を指示することができるコマンドが表示される。ここで実行可能な機能としては「新規メール作成」「新着メール確認」「メール一覧表示」「メール返信」「メール転送」「送信実行」等があり、それぞれに対応するボタンが画面中に設定されている。

【0022】この画面において、利用者により入力部13から「新規メール作成」を選択する入力があった場合、データ処理部11は、新規電子メール作成のための画面を表示部14において表示させる（ステップSP1）。電子メール作成用の画面には、例えば、電子メールプログラムを実行することによって実現される各種機能の実行を指示することができるコマンドが用意されている。例えば、実行可能なコマンドとして、電子メールの送信先のアドレスを設定するための「宛先」、電子メールのタイトルを設定するための「件名」、電子メールの本文を入力するための「本文入力」の他、返信用選択肢を設定する「返信用選択肢設定」等があり、それぞれに対応するボタンが画面中に設定されている。

【0023】この画面において、利用者は宛先、件名、本文を入力部13から入力する。具体的には、利用者

は、宛先として電子メールの送信先である上司のメールアドレスを指定し、件名としては本文に沿った内容、例えば「海外出張の承認願い」を入力部13から入力し、また、本文として、近日予定している海外出張の詳細内容と、当該海外出張に対し承諾を得たい旨を入力する。

【0024】上述したような情報が入力部13から入力されると、データ処理部21は、入力部13からの指示に応じて、件名の入力、宛先（電子メールの送信先アドレス）の指定、電子メール本文の内容を設定する（ステップSP2）。なお、電子メールは、ヘッダー部と内容部とから構成され、データ処理部11は、入力部13より指定された宛先、件名の情報をヘッダー部に設定し、同様に入力部13より入力された電子メールの本文（内容）を内容部（図6のM1部）に設定することにより、電子メールデータを作成する。

【0025】続いて、利用者により画面中表示されている「返信用選択肢設定」が入力部13より操作されると（ステップSP3でYES）、データ処理部21は、記憶装置12の返信用選択肢情報格納領域123に格納されている返信用選択肢情報の一覧を表示部14の画面に表示させる処理を行う（ステップSP4）。利用者は画面に表示された返信用選択肢の一覧の中から、自己が作成した電子メールの本文に対する返答として考えられる返信用選択肢を選択する（ステップSP5）。例えば、上述の電子メールの内容に対する上司の主な返答として、「承認」、「保留」、「却下」等が考えられる。従って、利用者は画面に一覧表示された返信用選択肢から「承認」、「保留」、「却下」に対応するものを選択する。

【0026】係る処理により、データ処理部11は、「承認」、「保留」、「却下」の3つの返信用選択肢が指示されたことを認識すると、現在作成中の電子メールのヘッダー部に、「承認」、「保留」、「却下」に対応する返信用選択肢情報を設定する（ステップSP6）。この結果、図6に示すような内容H1が送信用電子メールのヘッダー部に付加される。

【0027】続いて、利用者により入力部13から送信実行が指示されると（ステップSP7でYES）、データ処理部11は、自己メールアドレスを記憶装置12の自己メールアドレス格納領域122から読み出し、この情報を送信用電子メールに付加する（ステップSP8）。続いて、この自己のメールアドレスが付加された送信用メールを送信する（ステップSP9）。そして、電子メールの送信が完了すると、データ処理部11は、「送信完了」等の送信完了の旨を通知するメッセージを表示部14の画面に表示させる処理を行うとともに（ステップSP10）、送信した電子メールを送信済メール格納領域125に格納し（ステップSP11）、電子メールの送信に係る本処理を終了する。

【0028】《返信メールの送信に係る処理》続いて、

上述したような内容（図6参照）の電子メールの送信先である通信端末102で行われる操作・処理について図4に示すフローチャートを参照して説明する。まず、通信端末102のデータ処理部11は、通信端末101から送信された電子メールを通信部15を介して受信したことを検出すると（ステップSP21）、新規受信メールの通知を行うため、受信した電子メールの件名、送信元等を表示部14へ表示させる（ステップSP22）とともに、当該受信電子メールのデータを記憶装置12の受信メール格納領域126に格納する（ステップSP23）。

【0029】続いて、表示された電子メールが利用者により指定されることにより、当該受信メールの閲覧要求がなされると（ステップSP24でYES）、データ処理部11は、該当する電子メールデータを記憶装置12の受信メール格納領域126から読み出す。ここで、データ処理部11は、当該受信メールに返信用選択肢情報が付加されていることを検出すると（ステップSP25でYES）、当該電子メールを表示部14に表示させる処理を行うと共に、付加されている返信用選択肢情報を返信用選択肢として表示部14に表示させる処理を行う（ステップSP26）。この結果、表示部14には、図7に示すように、当該メールの送信元である通信端末101の利用者のメールアドレス、件名、内容M2が表示されるとともに、「承認」、「保留」、「却下」からなる返信用選択肢がボタンとして表示される。

【0030】利用者は、内容M2を確認し、この内容に対する回答として該当する、或いは最も回答に近い返信用選択肢を表示部14に表示されている返信用選択肢51～53の中から選択する。係る操作により、データ処理装置11は、いずれかの返信用選択肢が選択された旨を検出すると（ステップSP27でYES）、返信用電子メールを作成する（ステップSP28）。具体的には、選択された返信用選択肢の情報を電子メールの内容部に設定するとともに、この電子メールの宛先として当該受信メールの送信元である通信端末101のメールアドレスを設定し、要件として返信を示す「Re:」をこの返信メールの元となる受信メールの要件の冒頭部に付加したものを設定する。このようにして返信用電子メールの作成が終了すると、データ処理部11は、記憶装置12の自己メールアドレス格納領域122に格納されている自己メールアドレスを読み出で、この情報を返信用電子メールに付加する。そして、この電子メールを送信する（ステップSP29）。そして、電子メールの送信が完了すると、データ処理部11は、「送信完了」等の送信完了の旨を通知するメッセージを表示部14の画面に表示させる処理を行い、電子メールの返信に係る本処理を終了する。

【0031】《返信メールの受信に係る処理》続いて、上述したような返信用電子メールが通信端末101にお

いて受信された後の処理について図5に示すフローチャートを参照して説明する。まず、通信端末101のデータ処理部11は、通信端末102から返信された電子メールを通信部15を介して受信したことを検出すると（ステップSP41）、返信メールの通知を行うため、受信した電子メールの件名、送信元等を表示部14へ表示させるとともに（ステップSP42）、当該返信電子メールのデータを記憶装置12の受信メール格納領域126に格納する（ステップSP43）。

【0032】続いて、表示された返信メールが利用者により指定されることにより、当該返信メールの閲覧要求がなされると（ステップSP44でYES）、データ処理部11は、該当する電子メールデータを記憶装置12の受信メール格納領域126から読み出し、表示部14に表示する（ステップSP45）。これにより、表示部14には、図8（a）～（b）に示すような画面が表示される。図8（a）は、図4に示すステップSP27において「承認」の返信用選択肢が選択された場合、図8（b）は図4に示すステップSP27において「保留」の返信用選択肢が選択された場合、図8（c）は図4に示すステップSP27において「却下」の返信用選択肢が選択された場合の表示画面をそれぞれ示している。

【0033】なお、図8（a）には、返信の元となった電子メール、即ち通信端末101から通信端末102へ送信された電子メールの内容が表示されており、図8（b）及び（c）においては表示されていない。これは、ステップSP28において、返信用の電子メールを作成する際に、電子メールの本文に返信の元となった電子メールの内容を付加したか否かの違いである。即ち、図4のステップSP28において、電子メールの本文に返信の元となった電子メールの内容を付加した場合には、図8（a）に示すような画面が表示され、一方、図4のステップSP28において、電子メールの本文に返信の元となった電子メールの内容を付加しなかった場合には、図8（b）、（c）に示すような画面が表示される。なお、返信用電子メールの本文に、その返信の元となる電子メールの本文を付加するか否かは、任意に設定することができる。

【0034】なお、上述の実施形態においては、電子メールに付加された返信用選択肢をボタンとして表示部に表示すると記載したが、これに限らず、返信用選択肢の表示形態は如何なるものでもよい。即ち、返信用選択肢の表示形態如何に限られず、利用者がクリック、或いは所定キーの押下等の一操作を行えば、自動的に選択された返信用選択肢の内容を含む電子メールが作成され、自動的に返信処理が実行される機能を有するものであればよい。

【0035】以上、この発明の実施形態を図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の

設計等も含まれる。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の通信方法によれば、予め送信電子メールの内容に対して、考えられる返答をいくつか選択肢として当該電子メールの受信側に送信し、受信側では受信メールの内容を確認した後、当該電子メールの送信側から与えられた返答の選択肢の中から好適な返答を選択するだけで、その内容を付加した電子メールの返信が実行されるので、返答用選択肢情報が付加された電子メールの受信側では、返答用選択肢情報を選択するという1つの操作のみで返信操作が行える。この結果、利用者の負担を著しく軽減させることが可能となり、受信した電子メールに対する返信を容易に且つ迅速に行うことができるという極めて高い効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態に係る通信端末の構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明の一実施形態に係る通信端末が接続されたネットワーク構成の一例を示す図である。

【図3】 通信端末101において実行される電子メー

ル送信処理の流れを示すフローチャートである。

【図4】 通信端末102において実行される返信処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】 通信端末101において実行される返信メール受信処理の流れを示すフローチャートである。

【図6】 図5のステップSP45で表示される表示画面の一例である。

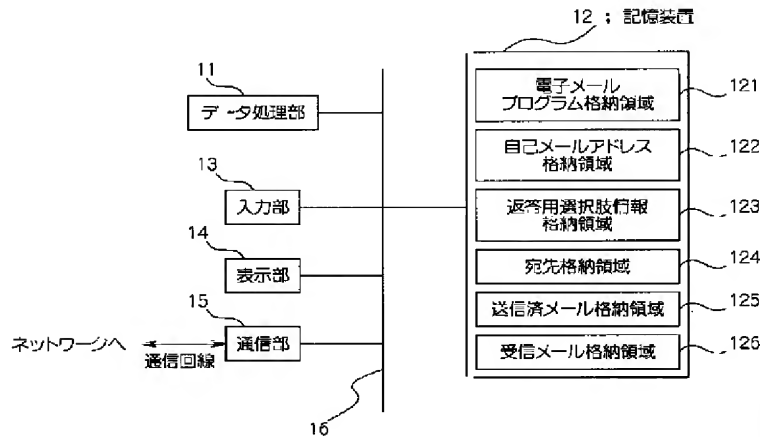
【図7】 図5のステップSP45で表示される表示画面の一例である。

【図8】 図5のステップSP45で表示される表示画面の一例である。

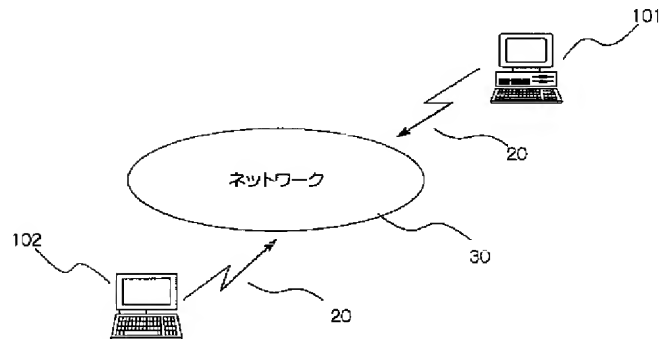
【符号の説明】

20…通信回線、30…ネットワーク、11…データ処理部、12…記憶装置、13…入力部、14…表示部、15…通信部、16…バス、51～53…返答用選択肢、101、102…通信端末、121…電子メールプログラム格納領域、122…自己メールアドレス格納領域、123…返答用選択肢情報格納領域、124…宛先格納領域、125…送信済メール格納領域、126…受信メール格納領域

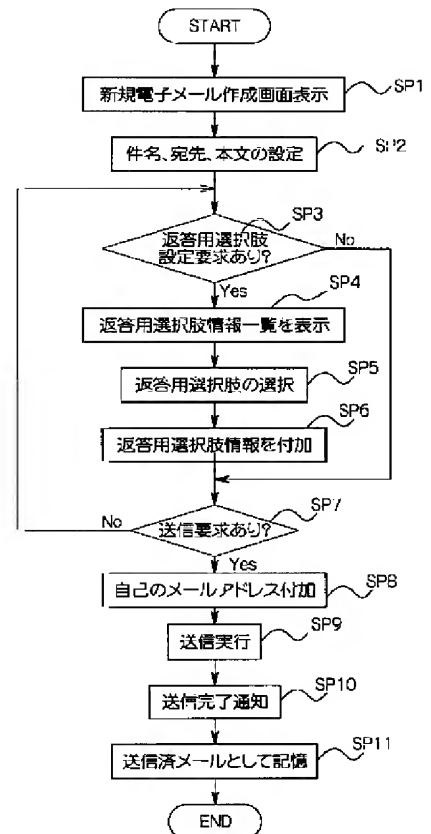
【図1】



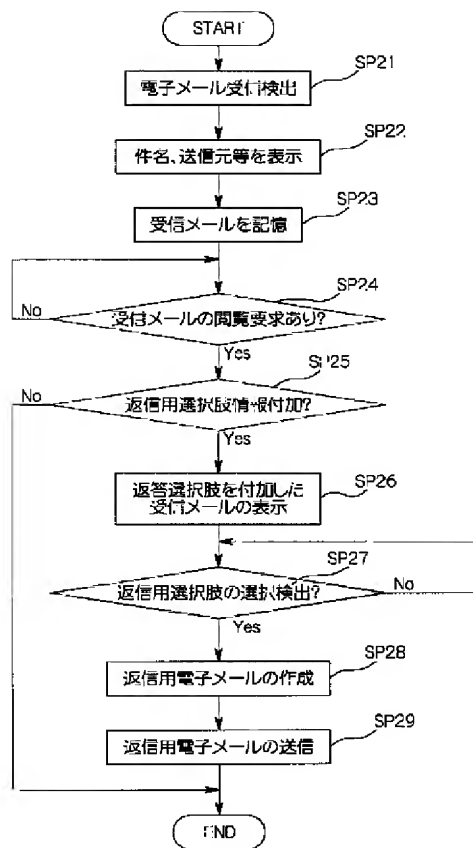
【図2】



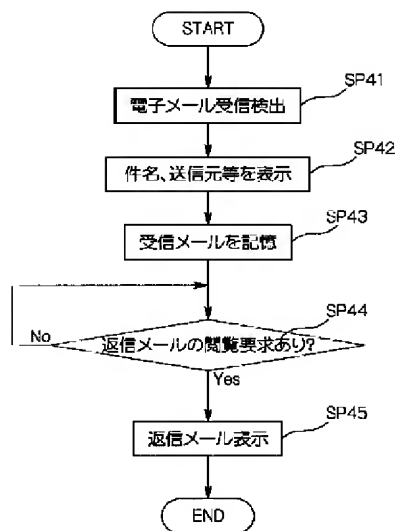
【図3】



【図4】



【図5】



【図7】

発信者:ABC@XYZ.COM
 送信時間:2001年1月16日14:58
 件名:海外出張の承認願い

ABCです。
 下記の海外出張の承認を御願ひします。
 1:日程
 2:出張者
 3:目的
 4:経費
 宜しく御願ひします。

承認

保留

却下

51
52
53

【図6】

To: zzz@xyz.com
 Subject: 海外出張の承認願い
 From: abc@xyz.com
 Date: Thu, 16 Jan 2001 14:58:32 +0900
 Attend Key Buttons
 1st Button:Name"承認": OriginBody Attend:Yes
 2nd Button:Name"保留": OriginBody Attend:No
 3rd Button:Name"却下": OriginBody Attend:No

H1

abcです。
 下記の海外出張の承認をお願いします。
 1. 日程
 2. 出張者
 3. 目的
 4. 経費
 よろしく御願ひします。

M1

【図8】

(a)

To: abc@xyz.com Subject: Re: 海外出張の承認願い From: zzz@xyz.com Date: Thu, 16 Jan 2001 15:08:59 +0900	
承認] M3-1
>abcです。	
>下記の海外出張の承認をお願いします。	
>1. 日程	
>2. 出張者	
>3. 目的	
>4. 経費	
>よろしくお願いします。	

(b)

To: abc@xyz.com Subject: Re: 海外出張の承認願い From: zzz@xyz.com Date: Thu, 16 Jan 2001 15:08:59 +0900	
保留] M3-2

(c)

To: abc@xyz.com Subject: Re: 海外出張の承認願い From: zzz@xyz.com Date: Thu, 16 Jan 2001 15:08:59 +0900	
却下] M3-3